



令和4年2月28日(No.16)
小金井市立南小学校
Tel 383-1149 Fax 382-2049
くじらぐも Tel 385-6310

来年度に向けて

校長 黒田昭二

明日から3月に入り、年度末を迎えます。教育活動も残すところ4週間あまりとなりました。現学年のまとめを行うとともに、進級に向けての意識を高めてまいります。

さて、振り返ってみますと今年度もコロナ禍のため教育活動が制約され、中止や延期になってしまったことが多々ありました。それでも子供たちは決まりをしっかりと守ってくれました。また、保護者の皆様にはたくさんのご協力をお願いしてまいりました。お陰様をもちまして、1年間の締めくくりを迎えようとしています。まだしばらくは同じような状況が続くものと思いますが、改めまして、この1年間のご支援に感謝申し上げます。また、来年度の教育計画につきましては保護者会（日程を変更させていただきました）の際にお知らせいたします。来年度が子供たちにとって充実した学校生活となることを、切に願っております。

コミュニティ・スクール制度の導入

小金井市では令和2年度から5年度にかけて市内全小・中学校にコミュニティ・スクール制度を導入する計画を立てています。南小学校では令和4年度からコミュニティ・スクールとしてスタートすることになりました。

コミュニティ・スクールとは・・・以下、小金井市教育委員会の手引きからの抜粋です。

学校運営に保護者や地域の意見を取り入れる仕組みをもった学校をコミュニティ・スクールといいます。コミュニティ・スクールは、

学校運営協議会制度ともいい、学校に保護者や地域住民で組織する学校運営協議会が設置され、学校運営に保護者や地域の皆さんが関わることができる仕組みです。

コミュニティ・スクールは、学校と地域が共通の目標やビジョンをもち、地域一体で子供たちを育むことで、「地域とともにある学校づくり」の実現を図り、学校と地域が一体となって子供たちの健やかな成長を育む施策です。

特に小金井市では、「小金井型コミュニティ・スクール」を目指しています。小金井型とは「学校運営協議会の仕組み」と、地域を創生するための様々な活動を行う「地域学校協働活動の仕組み」を両輪として進めていくものです。

そのためには、地域と学校が、子供たちの学びの充実のために、協議し、協働し、活動後の評価をして、次の取組につなげていくことが必要です。

本校では、以前より保護者・地域の皆様をゲストティチャーとしてお招きした学習活動や、ボランティア活動、あるいは、子供たちが地域に出かけていく活動など、幅広く実践してきました。その意味で、「地域とともにある学校」及び「地域学校協働活動」の素地はできているものと考えております。今後、保護者・地域の皆様とのさらなる連携のもと、新生コミュニティ・スクール南小として、より一層子供たちの学びの充実を図ってまいります。